

平成 29 年度長野市地域包括支援センター事業報告（活動報告）

1 地域包括支援センター業務推進体制		
自己評価の視点	業務推進状況	業務実施事例
<p>①平成 30 年度地域包括支援センター「事業計画」が適切に作成されている。</p> <p>②平成 29 年度地域包括支援センター「事業報告」が適切に作成されている。</p> <p>③3 職種連携によるチームアプローチが適切に行われている。</p> <p>④職員の資質向上に対する取組を適切に行っている。</p> <p>⑤個人情報の取扱い等、情報管理を適切に行っている。</p>		
2 総合相談支援業務		
自己評価の視点	業務推進状況	業務実施事例
<p>①地域における多職種協働によるネットワークの構築とその活用を進めている。</p> <p>②高齢者の実態把握を適切に行っている。</p> <p>③認知症高齢者及び家族への支援に取り組んでいる。</p> <p>④初期対応を適切に行い課題を明確化した上で、各業務へつなげている。</p>		

⑤公正かつ中立な立場で、継続的・専門的
相談支援を適切に行っている。

3 権利擁護業務

自己評価の視点

- ①権利擁護に関する啓発活動を適切に行っている。
- ②高齢者虐待への対応において、関係機関と連携した通報、支援体制を整え、高齢者虐待事例への対応を適切に行っている。
- ③成年後見制度、社協の日常生活自立支援事業・暮らしのあんしんサービス事業等の活用を促進している。
- ④消費者被害への対応を適切に行っている。
- ⑤高齢者の権利擁護に関して、職員の資質向上に対する取組みを適切に行っている。

業務推進状況

業務実施事例

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務		
<p>自己評価の視点</p> <p>①地域のケアマネジャーに対する個別支援を適切に行っている。</p> <p>②地域包括ケアに向けての体制作りを適切に行っている。</p>	<p>業務推進状況</p>	<p>業務実施事例</p>
5 介護予防ケアマネジメント（介護予防・日常生活支援総合事業）		
<p>自己評価の視点</p> <p>①要支援者等の多様なニーズを把握し、適切なアセスメントのもとに、利用者本人が望む生活という意欲に対して働きかけながらケアマネジメントを進めている。</p>	<p>業務推進状況</p>	<p>業務実施事例</p>

6 認知症対策		
<p>自己評価の視点</p> <p>①市認知症ケアパスの活用 ②専門的なサポート体制の強化 ③認知症高齢者（家族）支援体制の強化</p>	<p>業務推進状況</p>	<p>業務実施事例</p>
7 地域ケア会議		
<p>自己評価の視点</p> <p>①個別ケア会議の実施 ②地域ネットワーク会議の実施 ③長野市ケア会議への検討</p>	<p>業務推進状況</p>	<p>業務実施事例</p>

8 地域における生活支援コーディネーターとの連携（生活支援体制整備）

自己評価の視点

①生活支援コーディネーター（地域福祉ワーカー）との連携による生活支援・介護予防の活動づくりを行っている。

業務推進状況

業務実施事例

9 その他